

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和 7 年 6 月 23 日

都道府県知事
(市長)

殿

提出者

住 所 大分県日田市大字高瀬7163番地

氏 名 有限会社 安養寺牧場

代表取締役 安養寺 大輔

電話番号 0973-24-4572

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	有限会社 安養寺牧場
事業場の所在地	大分県日田市大字高瀬7163番地
計画期間	R7年4月1日～R8年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	01 農業
②事業の規模	乳牛成牛155頭 育成牛81頭
③従業員数	3人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	動物の糞尿—自ら堆肥化 動物の死体—処理業者へ委託処理

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

場長 廃棄物処理方針の決定
 廃棄物処理に関する各種事項の決定

事務員 廃棄物処理計画の作成
 委託契約の締結事務
 産業廃棄物管理票の交付管理
 行政等への各種報告

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（ 6 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	動物の糞尿	動物の死体
	排 出 量	2900 t	1.8 t
	(これまでに実施した取組) 動物の糞尿 堆肥化の促進 戻し堆肥の使用 動物の死体 飼養管理技術の向上		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	動物の糞尿	動物の死体
	排 出 量	2900 t	1.8 t
	(今後実施する予定の取組) 動物の糞尿 堆肥化の促進 戻し堆肥の使用 動物の死体 飼養管理技術の向上		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（ 6 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	動物の糞尿	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	2300 t	t
	(これまでに実施した取組) 堆肥化の促進 戻し堆肥の使用		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	動物の糞尿	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	2300 t	t
	(今後実施する予定の取組) 堆肥化の促進 戻し堆肥の使用		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（ 6 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	動物の糞尿	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	600 t	t
(これまでに実施した取組) 堆肥化の促進			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	動物の糞尿	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	600 t	t
(今後実施する予定の取組) 堆肥化の促進			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（ 6 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	動物の死体	
	全処理委託量	1.8 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	1.8 t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) 化製場に委託し、処理している。		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	動物の死体	
	全処理委託量	1.8 t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	1.8 t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
※事務処理欄			